

安心と笑顔のために

日本共産党札幌市議団ニュース

No. 331 2023 年 10 月 04 日

日本共産党札幌市議団 事務局 TEL 211-3221 / fax 218-5124

学校の冷房設備設置 できるだけ早く

10 月 02 日 文教委員会 小形かおり委員

議案第 27 号には保健室にルームエアコンを設置する補正予算、また各学校の電気容量を調査する調査費が盛り込まれたことを受けて小形市議が質問に立ちました。

同市議は最初に「学校施設冷房設備の 2 億 5500 万円、この内訳を」と端的に質問。市の担当者は「保健室のエアコン設置が 1 億 9600 万円、それから電気容量調査につきましては、5800 万円。容量調査を各学校に行い、つけられるところにはつけていく」と答弁しました。次に小形市議は「今まで全ての学校の保健室にはなかったということでもありますから、実際にエアコンがなかった、保健室でどんな対応をされておられたのか、困っていたことだとか、具体的な対応の中身などで、出されてる声、あるいは PTA や学校評議員評議員会などでもエアコン設置のことにに関して何か声がなかったのか」と質問。市の担当者は「熱中症への警戒アラートが発令された場合の対応ですとか、学校における冷却器具の使用などにつきまして、きめ細やかに通知してきました。熱中症の疑いのある児童生徒等に対しましては、養護教諭がその症状に応じて適切に対応している。2 学期明けですすねやはり冷房を設置してほしいという要望が各学校から寄せられている」と答弁しました。

最後に小形市議は「今回補正予算がついたということで一步、進んでいくんだと思っておりますけれども、やはり暑さ、来年の夏が非常に心配ですからできるだけ早めて進めていただきたい」と強く要望しました。

子どもと顔の見える関係の支援を

10 月 02 日 文教委員会 小形かおり委員

札幌市の子どもの権利救済機関である子どもアシストセンターについて、小形市議が質問に立ちました。

同市議は最初に「平日の午前 10 時から、20 時まで、そして土曜日は 16 時までの時間帯で相談を受けておられると聞いておりますけれども、とりわけ子どもたちの相談というのはどの時間帯が多いのか」と質問。市の担当者は「子どもからは平日 15 時台と 16 時台の放課後の時間帯で相談が多く寄せられている」と答弁。続けて同市議は「アシストセンターのスタッフの方が直接、子どものいる児童会館という場所に周知に出向いたと聞いている、その意義だとか、目的についてお尋ねしたい。併せてそのときの子どもたちからの反応などもあれば、明らかにしていただきたい」と質問。市の担当者は「子どもに直接相談員と会ってもらうことにより、アシストセンターが安心して悩みを相談できる機関だと思ってもらえることを狙いとしており、そのときの子どもたちからは現に出前講座終わったその直後にその場で相談員に悩みを打ち明けてくれる、そういう子どももいた。今後も顔の見える関係作りを続け、悩みが深刻化する前に、1 人でも多くの子どもに困ったときは、アシストセンターがついていてくれると思ってもらえるように取り組んでまいります。」と前向きな答弁でした。

最後に小形市議は「その場で相談する子もいたということで本当に私、顔の見える関係っていうのがとても大事。大変多忙な中でやっておられますので、本当にこの相談員やスタッフが足りているかどうかという点は常に点検をされて、センターとしての役割が果たせるようにしていただきたい」と要望しました。